

物流子会社を設立、3年後にグループ物流コスト20%削減を目指す

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)はこのたび、物流業務全般を担う子会社を設立します。

昨年10月、物流業務の効率化とコスト削減を目的にロジスティックセンターを設立し、受発注や輸送、倉庫業務など、物流業務全般の改革に取り組んできましたが、事業化の見通しがたったことから、新会社による物流事業をスタートさせるものです。新会社の主な業務は、構内荷役、輸送、搬入・据付、荷造り・梱包など。さらに、当社が物流業者と行ってきた契約、交渉、受発注業務もすべて引き継ぎ、大日本スクリーンの物流総合会社の役割を担っていきます。このような物流業務の一元化によって、さらなるコストの削減とグループ内留保を狙うとともに、より効率的な物流システムの立案、サービス品質の向上などを図ります。また、将来は外販体制も整え、事業を拡大する方針です。

事業開始に向けて新会社の登記を行った後、物流業務に関する許認可の手続きを開始し、自動車運送事業・利用運送事業・倉庫事業などの許認可取得が完了する予定の今年7月をめどに営業を開始します。初年度(2002年7月から2003年3月)の売上は約25億円、次年度は約40億円を見込んでいます。

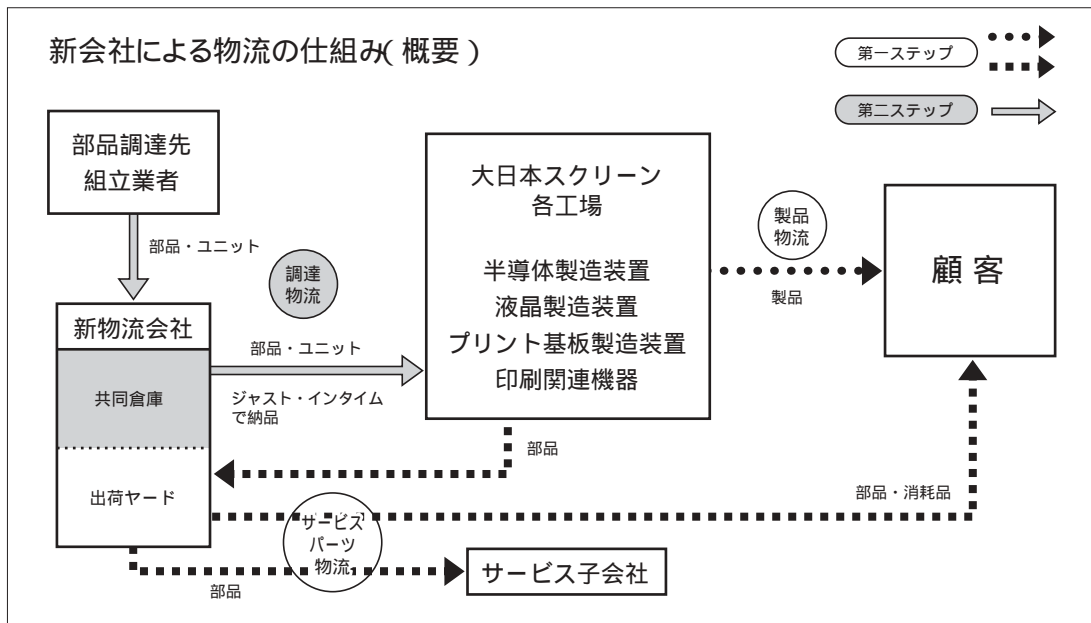
大日本スクリーンは、この新会社の事業活動を軸に、SCM(サプライチェーン・マネジメント)の導入などグループ全体の物流システムの整備・見直しを行い、3年後にはグループ全体の物流に関わる経費の20%削減を目指すとともに、物流業務の改革を進めていきます。

新会社の概要(予定)

設立予定日：2002年2月22日

資本金：1,000万円

主な業務：構内荷役業務・輸送業務・搬入・据付業務・荷造り・梱包



●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目